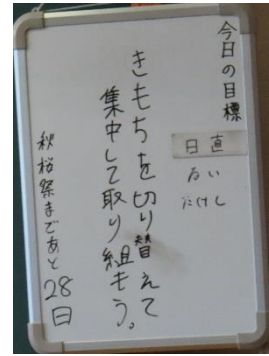


校長先生の日記⑳



2学期最初の1週間はとにかく暑かった！

2学期が始まって1週間。酷暑の中、みんなよく頑張りました。連日教室は、30℃を越える暑さ。信濃町は避暑地として有名な場所でしたが、北海道でも平気で30℃を越える暑さという日本列島ですから、信濃町も例外ではなく、暑くなりました。おかげさまで、クーラーは設置されていないのですが、プールがまだ使用できるということで、プールで暑い体を冷やすことができます。もしかしたら、休みに入る前より、気温が高いので快適かもしれません。校舎の中は、階を追うごと暑くなり、9年生の教室は給食から午後にかけて西日も相まって、32℃などということもありました。学校の予算で窓に設置するクーラーを購入し、少しでも涼しくできればと思ったのですが、窓のサイズに合わず、添え木が必要なの分かりました。そんな中でも、テストを頑張ったり、秋桜祭の準備が進められていたり、子どもたちは元気いっぱい頑張りました。来週も暑い日が続くとのこと。熱中症に気をつけて、乗り切りたいと思います。暑い中にも、涼しい風に秋を感じるなんてことが来週はあることを祈って！



暑い中での楽しみはやっぱり給食です！



24日の給食は、「冷やし中華」でした。具も麺もタレもキンキンに冷えていて、食べるとひんやり、一気に食欲が高まります。暑いと食べられなくなってしまいがちですが、これならしっかり食べられます。給食センターでは、冷えた麺を出してくださる業者さんを見つけ、子どもたちのためにこの時期に提供してくださっています。感謝です。あっという間に完食してしまいました！

音楽集会が行われました！



音楽集会が行われました。9年生が前に出て、集会の内容と心構えを伝えます。この日は、本校オリジナルの組曲「山と湖水の町から」の全校の部分を行いました。5章からなるこの組曲は、開校の際に作詞家の和田登さん、作曲家の宮澤裕さんに信濃小中学校

のために創っていただきました。そして秋桜祭の音楽会のフィナーレに全校で歌うのが習わしです。開校から12年。地域のみなさんの中にも歌える方が増えてきています。いずれは、信濃町の人全員がこの歌を歌えるようになることを目指して、今年もまた伝統をつないでいきます。